

月刊 保育とカリキュラム

トリプル特集 3 鈴木 翼の

現場ウケ
実証済み!

バスレク

わくわく遠足スペシャル

10

October
2011

キュッと
よくばり
HAPPY★PRICE

定価 590円



緊急特集

子ども・子育て
新システムの
まとめと
これから

無藤 隆
秋田喜代美
柴崎正行

トリプル特集 1

作品&飾り方

アイディアいっぱい!
みんなの園の作品展

トリプル特集 2

今の時期に見直したい
環境づくりの工夫

子どもたちの作品

やまのうえと、やまのしたは
みちでつながっていて
のぼれるようになっているよ

あなたのなかにどうぶつがすんでいて、
となりのやまはきれいにはっぱが
ならんでいるよ



いろいろな
いろのはっぱが
おちているよ



やまのうえにあちてきたごはんは、
よごれないようにはっぱでまいてみたよ



山の線の上にも葉っぱや木の実を並べて
みました。



きのうえは
あかいはっぱでいっぱいにな
っているんだ



活動のポイント

**イメージを広げにくく
筆の使い方（太く描く・細く描く
も伝える）**

「今日は山を描くのに墨の色をふたつ用意したよ。濃い色と薄い色があるから、どんな山にどの色の墨を使うか考えてみてね」
「山ができた人は、木や葉っぱもどんなんがあるのか考えて描いてみていいね」
「葉っぱの模様とか、細かいところを描きたかったら、同じ筆でも少し立てて先のほうだけで描くと細く描くことができるよ」
「山には木とか葉っぱとか木の実だけかな。だれかが住んでいたりとか?」
「ウサギとか?」
「クマも! あなたのなかにいるかも!」
「そんな動物もいそしだね。どんな秋の山が描けるか楽しみだな。墨でお絵描きができるたら、秋の山に似合う色を用意しているから、あとで塗つてみようね」

**墨や絵の具は子どもたちの
必要に応じて**
★絵の具を出したことで、それを全員が使わなければならることはあります。描くことを楽しむ子どもには、継続できるよう言葉をかけたり、絵の具で塗つた後も墨汁で書き足したいときには描くようにすめたり、子どもたちの必要に応じて使えるようにしましょう。

墨汁を使って描いてみよう!

秋の山って、 どんなところ?

葉が色づき、山の色合いも変わると身の回りの自然に興味を持つ機会が増えます。そんな秋の山からイメージや話を広げながら描くことを楽しみましょう。

活動のねらい

★思いを絵に表すことを楽しむ。

★周囲の環境に興味を持ち、イメージを広げることを楽しむ。

まき先生の



絵画・造形Live 3・4・5歳児 絵あそび

執筆／平野真紀(常磐会短期大学教授)
実践協力／大阪・住の江幼稚園

秋の山を描こう！

1 墨で山を描く



薄い墨と濃い墨を使い分けて描いています。

墨汁を使って描いてみよう!

秋の山って、 どんなところ?

葉が色づき、山の色合いも変わると身の回りの自然に興味を持つ機会が増えます。そんな秋の山からイメージや話を広げながら描くことを楽しみましょう。

活動のねらい

★思いを絵に表すことを楽しむ。

★周囲の環境に興味を持ち、イメージを広げることを楽しむ。

3 絵の具で色を塗る



2 イメージを 広げて描く



1 墨で山を描く



用意するもの

●画用紙

四ツ切サイズ（白・薄桃・黄緑・クリーム・
あさぎ・やまぶき）

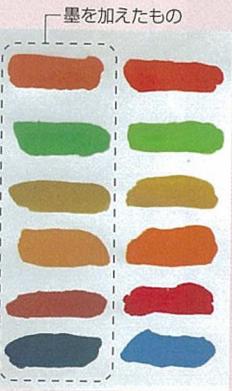
●墨汁

水で溶いて濃いめ・
薄めを用意

●筆（大・小）



※事前に色用紙に塗ってみて、色の映えぐあいを確かめておきましょう。



●絵の具
薄めの墨汁を少し加えたもの

